

沿 革

御坊クリーンセンターは、昭和63年稼働の第1施設（生し尿75kℓ/日、浄化槽汚泥25kℓ/日）と平成6年稼働の第2施設（浄化槽汚泥58kℓ/日）の躯体と一部水槽を一体的に統合した脱水汚泥の助燃剤化施設・汚泥再生処理センターとして、平成18年度から稼働しています。

汚泥再生処理センターの処理能力は131kℓ/日（生し尿52kℓ/日、浄化槽汚泥79kℓ/日）で、処理方式は膜分離高負荷脱窒素処理方式に高度処理を採用し、また、水質、悪臭、騒音などの公害防止対策にも万全を期した施設となっています。

含水率70%以下に処理された脱水汚泥は全量、御坊広域清掃センターに搬送し、助燃剤として焼却処理しています。

年	沿 革
昭和39年	御坊市外七カ町村環境衛生施設事務組合設立
42年	御坊衛生センター（第一施設 処理能力50kℓ）竣工
47年	御坊衛生センター（第二施設 処理能力50kℓ）竣工
56年	御坊周辺広域市町村圏組合に編入（統合）
63年	御坊クリーンセンター竣工
平成6年	御坊クリーンセンター浄化槽汚泥専用処理施設竣工
17年	組合名称を御坊広域行政事務組合に変更
18年	御坊クリーンセンター（汚泥再生処理センター）竣工